



かみこあにむら
議会だより

みどり

第 165 号

発行 平成30年 4 月10日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL0186 (77) 2226

FAX0186 (77) 2227



豪風関と約束 「いっぱい食べて強い子に！」

【かみこあに保育園 2月21日】

3 月 定 例 会

■ 平成30年度当初予算	P 2
■ 当初予算の減額修正案を可決	P 4
■ 人事案件	P 5
■ 平成29年度補正予算	P 6
■ 審査過程における意見・要望	P 7
■ 一般質問 3氏が登壇	P 9
■ 議会の動き・編集後記	P 12

万円
万円

(前年度比24.8%減)

(前年度比8.5%減)



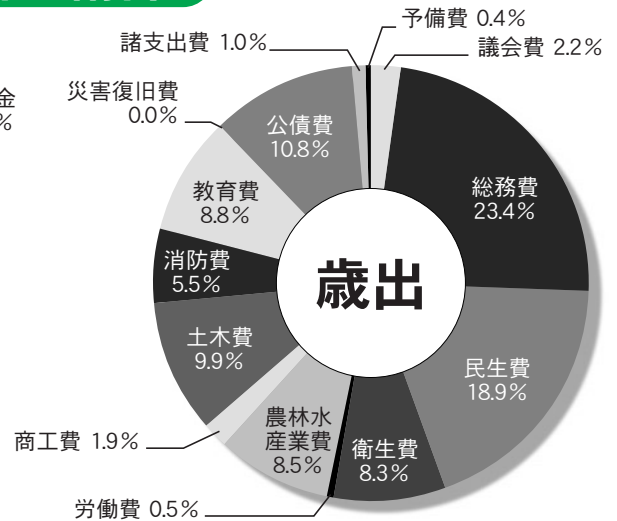
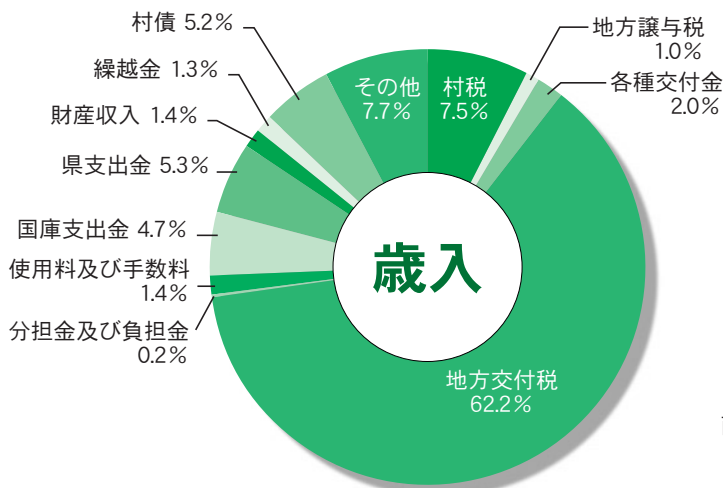
施政方針を述べる小林村長

平成30年第1回定例会は、3月2日から15日までの14日間の会期で開催しました。一般質問は3人が登壇し、農協合併計画の村の支援・連携体制、集住型宿泊交流拠点施設の運営、管理業務体制、「こあぴょん」の活用方法、農業政策などについて問いました。

本会議の初日には、除雪費1337万3千円を追加する一般会計補正予算の専決処分報告を承認しました。最終予定日の14日には、議事が順調に進まなかったことから会期の1日延長を可決し、最終本会議では、30年度一般会計当初予算案から、あきた北央を支援するための支店敷地を購入する費用2138万7千円を減額した修正案を賛成多数で可決しました。

また、予算関係議案11件、補正予算関係議案7件、条例関係12件を原案どおり可決したほか、人事案件2件が提案され、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任について、それぞれ同意しました。

一般会計予算の割合



各会計別予算額

会 計 名		予 算 額	前 年 度 比	一般会計からの繰出金
一 般 会 計		22億3,418万円	△24.8%	—
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	3億5,878万円	△18.4%	3,097万円
	国民健康保険診療施設(診療所)	1億1,072万円	△9.7%	4,959万円
	簡 易 水 道 事 業	7,360万円	△8.4%	2,103万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	5,673万円	△14.9%	3,381万円
	下 水 道 事 業	4,668万円	1.2%	2,825万円
	介 護 保 険 事 業	4億7,183万円	△0.4%	7,639万円
	後 期 高 齢 者 医 療	3,894万円	7.1%	1,520万円
	小 計	11億5,732万円	△8.5%	2億5,527万円
合 計		33億9,150万円	△19.9%	

一般会計

特別会計

22億3,418万
11億5,732万



かみこあにプロジェクト・健康ウォーキング(H29.9.7)

子育て世代への支援対策

学校給食費は半額補助

20%のプレミアム商品券を発行

平成30年度一般会計予算
の主な歳出は、次のとおり
です。

総務費

●秋田県町村電算システム
共同事業組合負担金
4439万9千円

●かみこあにプロジェクト
開催委託料 750万円

実行委員会を立ち上げて
計画されますが、県の「文
化による地域の元氣創出補
助事業」の補助金500万
円を合わせ、1250万円
の事業費で開催します。

●防災広報無線デジアナ改
修工事
2991万6千円

上五反沢、中五反沢、下
五反沢、堂川の4局を改修
します。

●バス路線維持費補助金
1580万9千円

バス路線維持のため、バ
ス会社の経常欠損額の一部
を補助します。

●物産センター・秋田杉の
館照明器具取替工事
348万1千円

民生費

●児童手当
1521万5千円

中学校卒業までの児童を
養育している方が対象です。
月額で3歳未満が一律1万
5千円、3歳以上就学前が
1万円（第3子以降は1万
5千円）、中学生は一律1
万円支給されます。

●保育料補助金
173万2千円

4月から9月分の納付済
み保育料と同額を助成する
ものです。

衛生費

●がん検診事業推進費
775万4千円

対象者へ無料クーポン券
を発行し、受診率向上を図
り、早期発見、早期治療に
努めます。

●ごみ処理委託料
2136万3千円

ごみ処理に係る事務を北
秋田市へ委託します。

●北秋田市し尿処理施設建
設事業費負担金
1568万1千円

北秋田市し尿処理施設建
設事業に伴う負担金。

農林水産業費

●農家民宿等支援
160万6千円

農家民宿開業認可申請経
費、改修費、農業体験受入
を支援するものです。

●多面的機能支払交付金
1178万4千円

農業の多面的機能の維持
のため、地域活動や営農活
動に対して支援します。

●中山間地域等直接支払交
付金
1012万7千円

中山間地域等の条件不利
地域（急傾斜地等）の耕作
放棄を防止するため、集落
協定に基づき支援します。

●野外生産試作センター管
理・運営費
1706万6千円

●地域林政バイザー委託料

410万4千円

上小阿仁村全域の林業経営に係る長期計画を作成します。

●造材事業

2778万7千円

搬出間伐11・72ha(大林字菊桜岱)、皆伐2・3ha(南沢字箱捌岱)を実施します。

商工費

●プレミアム商品券発行支援事業

500万円

10%のプレミアム付き商品券の発行、さらに子育て世帯に対しては20%のプレミアム商品券を発行します。

土木費

●道路除排雪費

6776万5千円

平成26年から村道除雪を路線ごとの委託方式に変更しており、村道107路線中の45・2kmと、その他42箇所8・5km、合計53・7kmを除雪します。



昭和12年に供用開始した上小阿仁橋(羽立)

●社会資本総合整備事業

(村道舗装等)

712万1千円

沖田面学校線(150m)と上仏社3号線路肩擁壁(12m)を整備します。

消防費

●常備消防委託料

1億181万3千円

消防に係る事務を北秋田市へ委託します。

教育費

●社会資本総合整備事業

(橋梁解体)

5020万3千円

橋梁点検結果に基づき、上小阿仁橋を撤去します。

●高校生海外研修事業

406万円

村内在住の高校生(5名)

提案手法が唐突 J A 土地購入費減額修正案を可決

議案の付託を受けた総務産業常任委員会では、J A あきた北央を支援する目的で計上した土地購入費に対し、「提案が唐突すぎる」と指摘され、議員発議により委員長に対して修正案が提出されました。

修正案は、土地購入費のうち1千円を残して、予備費に振り替える内容です。

委員からは「公有財産の取得というのは慎重にやるべき、事前説明が全くない」「あまりにも唐突すぎて、議会軽視だ」などと意見が出され、常任委員会で起立採決した結果、修正案を賛成多数で可決。本会議の最終日には大城戸議員が修正案に対し賛成討論し、議長を除く起立採決の結果、起立4人で修正案が可決しました。

【反対討論 大城戸議員】

公有財産取得という重要案件にも関わらず、議会に対し事前説明がなされないまま予算計上したこと、また、事前調査が不十分かつ説明資料があまりにもお粗末である。

J A あきた北央支店の存続は、住み慣れた地域で暮らし続けるためにも必要なことであるが、あまりにも唐突な提案であり、議会に相談もなく進もうとしている点であり、議会軽視と言わざるを得ない。



昨年の高校生海外体験研修
(航空博物館・昔の大統領専用機)

●教育用PCシステム
更新
1328万4千円

視聴覚室のパソコン
等を新しく整備します。

●京都大学吹奏楽部演
奏経費
64万6千円

京都大学吹奏楽部1
20人の演奏旅行が東
北地方を巡回するため
本村における負担分で
す。

●学校給食補助金
234万2千円

子育て世代の負担軽減の
ため、4月から9月までの
給食実食数に相当する額を
補助金として交付します。

●上ノ岱スポーツエリア整
備工事 404万5千円

夏季、ゲレンデを活用し
てグラウンドゴルフをする
ため、苔の張替えや排水対
策等を実施するものです。

●ALT配置事業

462万6千円

新たに招致外国青年を配
置し、英語教育に対応しま
す。

●エアコン設置工事

393万8千円

理科室と中学校3教室に
エアコンを設置します。

人事

2件

教育委員会委員に矢旗政則氏

固定資産評価審査委員会委員に 武石 誠氏



武石 誠氏
(昭和31年1月12日生)

◆固定資産評価審査委員会
委員の選任



矢旗 政則氏
(昭和45年11月13日生)

◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員
会委員の任命、固定資産評
価審査委員会委員の選任に
ついては、議長を除く7人
で無記名投票を行った結果、
賛成多数で同意しました。

選挙

1件

選挙管理委員会委員
及び補充員が決定

選挙管理委員は、地方自
治法182条により、議会
において選挙することとな
っておりますが、議員中に
異議がない場合は、指名さ
れた者を当選人とすること
ができます。

3月15日の本会議におい
て、任期満了に伴う選挙管
理委員会委員及び補充員の
選挙を行い、指名推薦で次
のとおり決定しました。
任期は、いずれも4年で
す。

▼委員(4人)

小林 宏氏(下五反沢)
畠山 貢氏(大林)
岸田 洋氏(沖田面)
田中 實氏(小沢田)

▼補充員(4人)

第1順位 大沢 秀高氏(下仏社)
第2順位 山田 金満氏(中五反沢)
第3順位 北林重太郎氏(杉花)
第4順位 田中 晟介氏(小沢田)

平成29年度補正予算

平成29年度一般会計補正予算は、各科目全般にわたる精算見込みによる減額、財政調整基金積立金などの追加により、148万7千円を追加し、予算の総額を30億3063万7千円にしました。また、特別会計は総額で833万8千円を追加し、総額を13億6015万2千円としました。

条例議案等

12議案

今定例会で提出された条例議案など12件は、原案どおり可決しました。

●政治倫理の確立のための上小阿仁村長の資産等の公開に関する条例の一部改正

●職員の育児休業等に関する条例の一部改正
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正するものです。

●上小阿仁村中山間ふるさと水と土保全基金条例の廃止

●上小阿仁村集住型宿泊交流拠点施設設置条例の制定

上小阿仁村集住型宿泊交流拠点施設の建設に伴うものです。

●上小阿仁村と北秋田市との間におけるごみ処理の事務委託に関する規約
村が北秋田市にごみ処理に係る事務を委託することについて、議会の議決を求めるものです。



総務産業常任委員会視察 北秋田市
クリーンリサイクルセンター (3月6日)

●上小阿仁村放課後児童クラブ条例の一部改正

放課後児童クラブの活動場所が、トレーニングセンターから上小阿仁村集住型宿泊交流拠点施設への移転に伴うものです。

●上小阿仁村介護保険条例の一部改正

平成30年度から平成32年度までの保険料率を定めること及び介護保険法の改正によるものです。

●上小阿仁村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定
介護保険法の改正によるものです。

●上小阿仁村後期高齢者医療に関する条例の一部改正
高齢者の医療の確保に関する法律の改正によるものです。

●上小阿仁村立上ノ岱スポーツエリア設置条例の一部改正

●上小阿仁村健康増進トレーニングセンターに関する条例の一部改正

●上小阿仁村「村民グラウンド」設置条例の一部改正
施設使用料の減免措置を図るためのものです。

陳情 1件

3月定例会では、1件の陳情を審査しました。

採択

◆最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

意見書 1件送付

陳情採択に伴う意見書1件を議員発議し、本会議で可決。関係機関に意見書を送付しました。

◆最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
【意見書提出先】
内閣総理大臣
厚生労働大臣

〈提出者〉
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 渋谷 一
秋田県労働組合総連合
議長 三浦 宣人

後期高齢者医療広域連合 小林議長が 副議長に就任

去る2月21日、秋田県後期高齢者医療広域連合2月議定会定例会が秋田県市町村会館で開かれ、小林議長が副議長に就任しました。

事前協議が必要 議会軽視である

総務産業常任委員会に付託された議案について、3月2日から8日間にわたって審査し、質疑された意見・要望をとりまとめ、当局に対して文書で回答を求めました。

当初予算関係

▼当初予算全般

▼意見 これまでも幾度となく指摘しているが、予算審査においては事前に内容の精査が必要なものに関しては、協議をしながら進めていくべきである。

説明が必要なものについては、内容が直ぐ理解できる詳細な説明資料を事前に

揃えるべきである。

▼回答 事前に内容の精査が必要なものに関しては、事前協議をすることで理解を深めてまいります。

新規の事業、予算額の大きなものに関しては、分かりやすい資料による説明に努めてまいります。

土地購入費

(あきた北央農協)

▼意見 公有財産購入については、村民の意見を反映させるために、物件等について事前に綿密な調査を実施し、そのうえで、議員全員協議会で事前説明を行い、大方の同意を得たうえで予算措置すべきであり、議会軽視である。

併せて農協から要望があった時点で議会にも要望す

べきであった。再度、議員全員協議会で詳細な資料を以て説明するべきである。結果次第では、緊急の議員全員協議会並びに臨時議会を開催して対応してもらいたい。

▼回答 予算については、固定資産税に用いる評価額で計上しております。

今後、不動産鑑定士等の意見を参考にして、土地、建物の適正価格を調査いたします。

また、土地、建物等の利用と価格については、議員全員協議会で協議をしていただきながら、あきた北央農協と折衝してまいります。



存続について要望書が出されている上小阿仁支店

かみこあにプロジェクト 開催委託料

▼意見 新年度予算は委託料が750万円と、昨年度より250万円アップしている。著名な作家に出展してもらうための予算計上は

理解できるが、将来、国・県の補助金が廃止された場合の村の方針や、委託先の実行委員会の運営方法が不透明である。
将来的に継続するのであれば、スポンサーや村民に理解してもらう必要がある、



作家による作品紹介(昨年のオープニング)

今からそのための調査啓発を行うべきである。

▼回答 将来に向けて更に、知名度を上げるため継続することを考えています。

その成果により、実行委員会が、村の手を離れ独立した組織となるのが理想と考えます。

スポンサーや企業から協賛を得るアピールも必要ですが、なにより村民理解が重要であります。



2017 実行委員会

住民と一体的な対応が出来るひとつの方法として、各集落の公民館での開催の希望をとりたいと考えています。
身近なところでの開催により、住民理解が深まるものと考えております。

集住型宿泊交流拠点施設

▼意見 4月1日オープン

予定の施設については、村の課題克服と移住・定住交流拠点として、利用率を高めるための運営、体制づくりと施策が早期に必要である。村民への周知はもちろん、村内外に発信し、多機能の施設が有効に活用され、気軽に集い親しめるモデルとなる施設になるよう努力すべきである。

なお、企画管理を担当する職員を強化しなければならない。

▼回答 周知については、例えば、教育委員会からは各小中高등학교や近隣の大等学等に紹介してまいります。幹部職員はそれぞれ機会をとらえ宣伝マンになって周知に努めます。

施設を使いやすいよう上小阿仁村集住型宿泊交流拠点施設管理運営規則で使用料を減免します。又、上小阿仁村交流宿泊等誘致事業費補助金交付要綱を設置して旅費等の補助金も新設しております。

各課で計画した事業を予算化していますので、各担当毎に事業を実施して施設の利活用を図ってまいります。

質問

交流施設の営業(宣伝)マンとして 村民の協力を求めている

村長

村一体となり施設活用を図りたい



【武石辰久議員】

とや、自己資本比率がJAバンク基本方針8%を大きく下回り、監督官庁から信用事業譲渡、または早期合併の選択を迫られているということであつた。平成29年9月にJA鷹巣町に救済合併の方向で進んでいるようであり、支店の統廃合については、合川地区と上小阿仁地区に、各支店1か所を残すことで検討しているとのこと、合併に向かうには上小阿仁支店一帯の土地や倉庫等の不稼働資産の処分売却が必要であるため、土地の買収をお願いしたいという内容となっている。

農協の合併計画に伴う村の姿勢と支援・連携体制

武石議員

①村に出された「上小阿仁支店存続に伴う要望書」の内容は。
②合併計画と要望に対して、村の姿勢と支援・連携体制について、どう考えているか。

村長

①平成26年度、27年度の加工事業の不振、不良債権の増加等により、2期連続の赤字決算になったこ

と、約800人の組合員と貯金残高51億円、貸出残高約2億4000万円となっており、農協がなくなるといことは更なる人口減少を加速させるとともに、産業経

済に大きな打撃をあたえる。村としては、農家や利用者の利便性を確保するため、出来るだけの支援をさせていただきたい。

武石議員

基幹農業の振興を図るため、集出荷施設や営農等連絡対応できる窓口を置き、村唯一の民間金融機関としては是非残してもらいたいこと。村として十分協議し、要望を出していくことが重要である。土地、建物の購入についても、活用策を事前に十分協議検討し、応えていく必要があると思うが。

村長

村民にとつても上小阿仁村にとつても、大変重要な問題である。是非とも農協を残していきたいという考え方で、今回、予算計上させていただいた。

集住型宿泊交流拠点施設の運営

武石議員

①施設の利用をいかにして高めるか。
②多機能、多世代交流を推進する体制をどう作るのか。

村長

①アパートやレンタルルームについては、2月10日から申込みの受付を開始し、チラシ等によって周知している。利用促進のための補助金交付要綱も活用しながら、利用効率を図っていききたい。

②交流エリア、宿泊アパート等のエリア、宿泊滞在エリアの3つのエリアを合わせ持つ多機能施設となつて



完成した集住型宿泊交流拠点施設を見学(3月22日)

いる。これまで地域センターや生涯学習センターで行われていた交流事業等を含めて、この施設等で活用を進めていきたい。

武石議員

マスコミ、ホームページ等のPR以外に、早めに足を運んでの宣伝営業が必要だと思う。村長をトップとして各担当職員はもちろん頑張らなければならないが、より多くの村民にも各部門の協力をお願いし、営業(宣伝)マンになつていただいたらどうか。また、施設の特徴を活かし、意識的、計画的に各機能、各世代交流の場を作る必要がある。既定の行事の工夫や新しい交流行事の企画を考えたかどうか。長い名称なので、愛称をつけるべき。

村長

県内外の大学、高校、小中学校を含めて、今ある村の施設を活用しながら、そして、集住型施設を活用できるような行事等も検討させていただきたい。そして、各部門における村民の方々の協力をいただきながら、村一体となつて、この事業を進めたい。

質問

キャラクターを生かした
攻めの事業!!

村長

関連予算を計上

新商品の開発につなげたい

する方を優先すると書かれていた。募集要綱には入居予定日が書かれていなかった。現在の申込状況は。



【大城戸ツヤ子議員】

集住型宿泊交流拠点
施設の管理業務体制

大城戸議員 この施設は、

村内外から注目されている。1月23日には議員全員協議会で協議し、その後、広報発行と同時に管理人を公募している。

①建物の管理人、企画・運営のための担当職員、それぞれの業務内容を伺いたい。
②アパート入居の選考基準は消防団加入、地域ボランティア活動に積極的に協力

村長 ①管理人については、週5日勤務のフルタイムの方が1名、週3日勤務の宿日直の方が3名の募集をしている。フルタイムの方には施設の利用促進、スケジュール管理、施設及び村のPR等を含めた業務をお願いしたい。ソフト事業の実施については、各課の担当がそれぞれ事業を実施していくことになる。

②そういった活動に積極的に協力していただける方を優先させたい。入居は4月1日から可能で、現在、2名の申し込みがある。

大城戸議員 村長の考え方

は、全部の課が対応するということだが、全体で企画しても、どこが取りまとめをするのか。また、対外的な担当者も必要だと思うが。

村長 いろんな形で村のPRも含め、管理ができるような方には是非ともお願いをしたい。できれば、そういう経験、知識のある方にお願いしたい。

村のキャラクター「こあびよん」の活用方法

大城戸議員 昨春、村のPRオリジナルキャラクター

「こあびよん」が誕生した。村の行事や村をPRするイベントに出演する機会が増えていくことは喜ばしいことである。このキャラクターをセールズ事業として活

用すべきと思うが、
①道の駅かみこあにとのコラボが必要ではないか。
②製作費に117万円くらいかかっている。道の駅や役場玄関前への人形の設置やカラー刷りの封筒印刷など、こあびよんのPR対策は。



C M大賞制作のための撮影 (H29.11.1)

村長 ①等身大フィギュアの製作、記念写真用の板も対応しながら、道の駅で活用していきたい。

②缶バッジやクリアファイルの作成、色々なイラスト等も含め著作権の登録、絵描き歌などの作成を考えて

いる。

大城戸議員 例えば村には和菓子屋さんがある。コハゼの餛飩を入れた「こあびよん餛飩」を作るとか、こあびよんの型のハンコを餛飩に載せるとか、色々なことが考えられるはずである。

また、上小阿仁産の食材などにはこあびよんシールを貼って差別化をするとか、お饅頭やパン、攻めの商売が必要ではないか。

村長 食品関係の特産品開発等については、これから検討させていただき、とりあえず新年度予算で作成したい。今後は、村内業者の方にも協力をお願いしていきたい。

大城戸議員 現在、着ぐるみは職員が着ていると思うが、登録制にしてアルバイトのシステムを取り入れ、誰もがこあびよんに親しむような雰囲気づくりをしてみては如何か。

村長 直ぐ対応できるか状況によると思うので、今後対応を検討していきたい。

質問

就農希望者に対する環境づくりは

村長

補助拡充等の検討

支援体制の整備へ



【齊藤鉄子議員】

農業政策

齊藤議員

現在村で、人・農地プランに認定されている担い手は上蔭で20、下部で15、経営体を中心となり農地維持に頑張っている。担い手の育成、幅広い年齢層からの新規就農者の確保が必要であるが、野外試作センターの研修生が就農しても経営がうまくいかず、離農して他に職を求める研修生も見受けられる。担い手を確保するためにも、そ

の後の支援、見守りも必要ではないか。併せて農業に取り組みたい人達への環境づくりも必要ではないか。

村長

野外生産試作センターでの農業後継者育成技術研修制度は平成11年度から始まり、10名の研修生のうち6名が就農している。新規就農者に対する支援として、国の農業次世代人材投資資金があり、年間150万円で最大5年間の交付が可能である。村としても、園芸資材購入に対する助成がある。環境づくりについても、いわゆる耕作者が効率的に農業ができるよう、農地の集積化、耕作権の交換分合に向け、土地改良区、水利組合、農業者会、農業委員会と連携していきたい。

齊藤議員

農家の後継者であれば土地もあって就農しやすいと思うが、全く縁のない人は土地の取得とか、機械の導入とか、そういう面の助成も必要ではないか。

村長

現段階での国、県の指導では法人関係、私的には法人も支援しながら、1人当たりの耕作面積を増やさないといけないと思っている。最後に残るのは法人だと思っている。

齊藤議員

人・農地プランに認定されている方、農協のアグリなど、面積的に限界なようである。研修生に対する支援はもちろんだが、不安を抱えながら農業をやっている農家への支援も必要だと思う。ある市では、独自に直接支払交付金30

00円を予算化しているところもあるように聞いている。将来、耕作放棄地が増えた場合など、中間管理機構で対応するのか。

村長

国の制度として1万5000円が75000円、そして今回ゼロという状況の中で、村が肩代わりすることが果たして妥当なのかということについては、少し検討が必要である。耕作放棄地の関係については、それこそ農業委員会に対応していただいている。

齊藤議員

新聞に紹介されていたが、島根県美郷町では、農業法人も担い手もいるが、生産不利地域が多く、耕作放棄地が増えているようである。しかし、6次産業化を図るため、町が農業生産法人を設立。そのなかで、「他産業は移転できても、農業は移転できない。農業の危機は地域の危機、日本の危機」。村も、そのことを肝に銘じて、村独自の政策をすべきである。



30年産米の生産目標を承認した
村農業再生協議会臨時総会 (H30.1.30)

定例会の年間計画

区 分	開 催 年 月 日	会 期
平成30年 6月定例会	6月12日(火)～14日(木)	3日間
平成30年 9月定例会	9月 3日(月)～13日(木)	休会を除く会期9日間
平成30年12月定例会	12月11日(火)～13日(木)	3日間
平成31年 3月定例会	3月 1日(金)～13日(水)	休会を除く会期9日間

※会期日数は、当局からの提出議案数などをもとに議会運営委員会で協議し、本会議に諮って決定します。村の行事等によって変更される場合もあります。

議会の動き

第1回

議員全員協議会

1月23日(火)

協議案件

- ・集住型宿泊交流拠点施設について
- ・職員の不祥事に関する懲戒処分について

適正な管理人の配置を

集住型宿泊交流拠点施設の維持管理や活用対策について協議をしました。

前回の指摘を受けて、アパートや短期滞在部屋の使用料などの見直し案を示し、収入計画について説明。4月1日のオープンに向けて早期のPRが必要になることから入居者の募集手続きなど、議会の理解を求めました。

議員からは、「施設の目的である高齢者と若者のふれあい・共存施設としてのソフト面がない」「最初が

肝心なので適正な管理人を配置するべき」「この施設を拠点に観光に特化した協力隊の公募はできないのか」などといった意見が出されました。

村活性化策の糸口探る

北秋田地域振興局との意見交換会が2月15日、役場2階大会議室で行われ、北秋田地域振興局の高橋靖弘局長をはじめ、各部長、次長など7名が参加しました。はじめに和泉総務企画部長より県政の運営指針であ



初の開催となった意見交換会



議会を傍聴してみませんか



次回の定例会は6月12日開会予定です。3月定例会本会議の傍聴者は5人、委員会審査の傍聴者は15人でした。



委員会審査を傍聴する婦人会の皆さん(3月7日)

る「第3期ふるさと秋田元氣創造プラン」の素案について説明。村議会側からは「農事組合法人に対する支援策」「萩形ダムの放水と上小阿仁橋付近の雑木除去」「健康寿命対策」「中山間地農業の活性化方策」など、村の抱える問題や支援策について要望・意見を交わしました。

編集後記

14日間に及ぶ3月定例会(会期延長1日)も、平成30年度一般会計予算、普通財産取得費に対する修正案が出され、可決されました。これは、JAあきた北央上小阿仁支店の用地取得費です。また、説明が少なく、これからになります。支店が残るように皆さんと共に働きかけていきたいと思っています。

4月からは集住型宿泊交流拠点施設もオープンします。親しみやすい名称や入居募集も広くPRしていただき、維持管理費の削減に努めてもらいたいものです。農家の皆さんも、いよいよ春作業が始まり忙しくなります。今年も災害もなく、豊作でありますように。

(北林 記)

編集委員

委員長 佐藤 真二
副委員長 大城戸ツヤ子
委員 伊藤 秀明
北林 義高
武石 辰久